



IT・スタートアップの一大拠点として世界から注目を集める南インド・ベンガルールにおいて、現地の経済動向とビジネス機会を直接体感いただくべく、「南インド・ベンガルール経済視察」を以下の通り実施いたします。

本視察では、現地のグループ会社「第一交通インド」はじめ、有力日系企業やスタートアップ企業の視察に加え、JETRO（日本貿易振興機構）ベンガルール事務所による現地経済概況のブリーフィング、ベンガルール日系企業の方々との交流会も予定しております。インド進出・連携を視野に入れた企業の皆様にとって、非常に有益な機会となることと存じます。



【ベンガルール(旧バンガロール)】

「インドのシリコンバレー」と称されるほど、IT産業の一大集積地として著しい発展を遂げている。市内にはインド有数のテクノロジーパークが整備されており、多数のIT企業やスタートアップ、大手グローバル企業の研究開発拠点が集中している。

ソフトウェア開発、人工知能、データ解析などの先端分野で国際的な競争力を持ち、世界中で活躍する優秀な技術者を数多く輩出している。

また、ITサービスのアウトソーシング拠点としても重要な地位を占め、多国籍企業のオフショア開発拠点が数多く立地する。教育機関も充実しており、国内外から優秀な人材を惹きつけ、高度人材の継続的な供給を支えている。

【日 程】 2025年10月07日(火)～10月11日(土) 3泊5日

【発着地】 福岡空港発着(往復)

【訪問都市】 南インド・ベンガルール(旧バンガロール)

【主な視察内容】

✓現地日系企業の視察、工業団地視察

✓スタートアップ企業・IT関連施設の見学

✓JETROベンガルール事務所による経済概況の説明

✓ベンガルール日系企業の方々と交流会

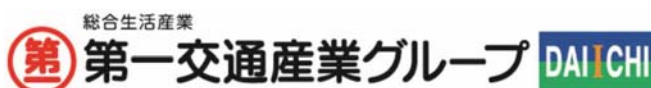
【参加費】 429,000円(おひとり様)

(航空券、燃油付加費等、宿泊費、交通費、食費、インドEビザ取得費用含む)

【申込締切】 2025年08月15日(金)

※募集人員に達した場合は、後日、説明会の開催を予定しております

【企画・実施】



【取扱旅行社】





バンガロールの主要産業

バンガロールの経済は多様性に富んでおり、IT産業をはじめ、航空宇宙、バイオテクノロジー、電気通信、教育分野が重要な役割を果たしています。

ベンガルール世界的企業

日系企業では、トヨタ、ソニー、ホンダ、メルカリ、ラクスル、楽天などが進出しています。

海外企業では、グーグル、マイクロソフト、インテル、サムスン、フェイスブック、GE、フィリップス、エアバス、CISCO、ボッシュなどが進出しています。

IT産業:バンガロールの象徴

バンガロールのIT産業は、インドの経済成長を牽引する中核的な存在です。1980年代に政府が設立したソフトウェア・テクノロジー・パーク(STPI)を契機に、多くの国内外企業が進出しました。

インドのIT産業が世界から注目された理由としては、「英語を話せる人材が多いこと」「人件費が安価であること」「問題解決能力が高いこと」などが挙げられます。これらの要素により、インドはIT大国として世界に認知されるようになりました。

また、アメリカ西海岸との時差が約12時間あることも、アウトソーシングの拠点としての利点となっています。アメリカ企業が業務をインドに発注すると、インドで夜間のうちに作業が進められ、翌朝のアメリカの会社時刻には成果物が完成しているという「時間差効果」が活用されているのです。

さらに、インドは「ゼロ(0)」を発見した国として知られ、数学への適性が高いとされています。イギリスからの独立後、インド政府は数学教育に力を入れてきたことから、数学的素養を持つ人材が多く、これがIT分野における強みの一因となっています。

主な特徴

優秀な技術者の集積:インド工科大学(IIT)をはじめとする名門大学から輩出される優秀な人材が集まり、労働力の質の高さが評価されています。

充実したエコシステム:スタートアップから大手企業まで多様な企業が集積しており、技術革新を支える活発なビジネス環境が整っています。

ベンガルール・ケンペ Gowda 国際空港

空港機能に加え、複数の交通機関が連携する「マルチモーダル・トランジット・ハブ」として整備され、空港とベンガルール市を結ぶ重要なターミナルビルです。「庭園の中のターミナル」をコンセプトに設計され、内外にわたって連続する緑豊かな庭園が、旅行者と自然をやさしくつなぎます。設計を手がけたのは、80年以上にわたり分野を超えた学際的プロジェクトを展開してきた国際的建築事務所、スキッドモア・オーウィングズ・アンド・メルルです。



「南インド・ベンガルール経済視察5日間」(福岡発着)

	月 日	都市名	交通機関	現地時間	ス ケ ジ ュ ー ル	食事
1	10月 07日 (火)	福岡 香港 香港 ベンガルール	CX589	16:40	出発2時間前、福岡空港国際線ターミナル3F集合 搭乗手続、出国手続、空路にて香港へ(約3時間45分) 香港空港着(時差-1時間) 乗り継ぎ 空路にてベンガルールへ(約5時間45分) ベンガルール着(時差-3.5時間) 入国手続き 専用車にてホテルへ (ベンガルール泊)	
			CX679	19:25		機
				20:55		
			専用車	00:10		
2	08日 (水)	ベンガルール	専用車	午前	午前:現地企業視察(第一交通インド、IT、産業機械製造業関係) 午後:ジェトロ・ベンガルール事務所訪問(現地概況説明) (ベンガルール泊)	○
				午後		○
						○
3	09日 (木)	ベンガルール	専用車	午前	午前:現地企業視察(スタートアップ企業、人材派遣関連) 午後:工業団地視察 夕刻:現地日系企業の方々と意見交換会 (ベンガルール泊)	○
				午後		○
				夕刻		○
4	10日 (金)	ベンガルール	専用車	午前	午前:ベンガルール市内視察 ヴィナード・サウダ(政庁ビル)、ベンガルール・パレス ショッピングモールなどの視察 夜:ホテルチェックアウト 専用車にて空港へ 搭乗手続、出国手続 (機中泊)	○
				午後		○
				夜		○
5	11日 (土)	ベンガルール 香港 香港 福岡	CX624	01:20	空路にて香港へ(約6時間05分) 香港空港着(時差-1時間) 乗り継ぎ 空路にて福岡へ(約3時間30分) 福岡着 入国手続き、通関 ~お疲れ様でした~	機
				09:55		機
			CX588	11:00		
				15:30		
◎利用予定航空会社 CX:キャセイパシフィック航空 エコノミークラス ※ビジネスクラスご希望の際はお問い合わせ下さい 別途手配させていただきます						
◎利用予定ホテル (1名様・1室利用) ベンガルール:ホリデーイン、ザ・センチャリーホテル、ラマダバンガロール (4星クラス)または同等クラス 2名1室利用をご希望の場合はお問い合わせください						
◎食事条件 朝食:3回 昼食:3回 夕食:3回(懇親会費用を含みます)						
◎募集人員 20名様(最小催行人員 10名様)						
◎専用車 中型バス、またはマイクロバス利用						
◎添乗員 日本から同行いたします						
◎申込締切 08月15日(金)まで						
◎ビザについて インドビザの申請が必要になります(Eビザ申請)						
◎費用に含まれないもの 国内交通費、旅行傷害保険、追加飲物代、個人的性質の費用						
◎その他 行程、交通機関は現地諸事情により、調整、入替、変更される場合がございます ※旅行条件の詳細は別途お渡しする資料をご参照ください						

【第一交通インド(Daiichi Kotsu India Pvt. Ltd.)】

設立:2017年。第一交通インドは、インド市場におけるプレミアム交通サービスプロバイダーとして、タクシーサービス、専属ドライバー派遣、マルチブランド車両整備など、多岐にわたるモビリティソリューションを展開しています。日本で培った豊富な経験と高度な安全基準を活かし、インドにおいても「安全性」「信頼性」「顧客満足」の新たな基準を確立。ドライバーは日本基準に準拠した厳格な研修プログラムを修了しており、常に安全で快適な移動サービスを提供できるよう備えています。

現地では第一交通インドの日本人スタッフが同行します

令和5年11月2日に開催された、九州経済産業局、九州経済国際化推進機構、日本貿易振興機構(ジェトロ)福岡貿易情報センター主催の「インドビジネスウェビナー」に講演者として参加しました第一交通インドの鈴木が今回のツアーに同行致します。



【鈴木 敦詞】

2011年よりインド事業に従事。2017年には第一交通インディアを設立。インド・バンガロールにて、「安心・安全」をモットーに、日系企業向けに運転手付き配車サービス、ドライバー派遣などを提供しています。また、インド国内向け事業として自社整備工場を展開し、地域に根ざしたサービスを目指しています。2023年10月よりベンガルール日本人会会長に就任。リアルな体験を交えながら、インドにおけるビジネス展開、現地状況の実情をご紹介します。

